

未来につなぐ 文化財の保存と活用

主催：前橋市教育委員会

2023年12月10日(日)

14:00～16:00 13:30開場

会場

臨江閣別館 2階大広間

(前橋市大手町三丁目15)

参加費
無料

一般100名

申し込み方法

電話またはWEB申込フォームから

TEL 027-280-6511



WEB申込フォーム

《申込期間》2023年11月22日(水)～2023年12月7日(木)

地域に残る様々な文化財を未来に繋げていくために「文化財の保存と活用」をテーマに国指定重要文化財である臨江閣でシンポジウムを開催します。大規模災害、少子高齢化による後継者問題等文化財を取り巻く環境は変化しています。これまでの文化財保護の取り組みと、文化財を保存・活用しながら未来に生かすための取組等について、事例等を交えて解説します。



PROGRAM

【開会】

14:05～14:20 (15分)

市長挨拶 山本 龍

【第1部】 基調講演

14:20～14:50 (30分)

「文化財の継承に向けて」－歴史的建造物の保存整備の現状と課題を通して－

群馬県文化財保護審議会 副会長 村田 敬一 氏

【第2部】

シンポジウム

14:55～16:00 (65分)

「未来につなぐ前橋の文化財の保存と活用」

登壇者

コーディネーター：元上毛新聞社取締役論説委員長 藤井 浩 氏

パネリスト：群馬県文化財保護審議会 副会長 村田 敬一 氏

帝京大学経済学部観光経営学科教授 小笠原 永隆 氏
(東京都観光まちづくりアドバイザー)

黒曜石体験ミュージアム学芸員 大竹 幸恵 氏
(ドキュメンタリー映画「掘る女」主演)

アドバイザー：群馬県地域創生部文化財保護課 文化財主監 桜井 美枝 氏

未来につなぐ 文化財の保存と活用

PROFILE

Coordinator



元上毛新聞社取締役
論説委員長

ふじい ひろし
藤井 浩

慶應義塾大学文学部国文学科卒業後、上毛新聞社に入社。記者として主に歴史・文化を担当。文化生活部長などを経て、2010年から7年間、論説委員長を務めた。同社の「シルクカントリー群馬キャンペーン」の企画・紙面づくりを担当。2021年から2023年まで上武大学ビジネス情報学部教授。現在、萩原朔太郎研究会幹事長、ぐんま芸術文化創造事業評価委員（座長）等として活動している。著書に『誇りについて 上野村長・黒澤丈夫の遺訓』（上毛新聞社刊）、『眠る男の記録』（同）、『名曲茶房「あすなろ」小史』（同）など。編著に『群馬文学全集第20巻 評論・随筆』（群馬県立土屋文明記念文学館刊）、『詩のまち「前橋」ものがたり』（上毛新聞社刊）がある。

Panelists



前橋工科大学客員教授
群馬県文化財保護審議会副会長

むらた けいいち
村田 敬一

三菱地所(株)退職後、群馬県立高校建築科教諭、太田工業・前橋工業高校校長、全国工業校長協会事務局次長を経て現在に至る。建造物・建築史を専門とし、前橋市文化財調査委員委員長他審議会等の委員として活躍。著書に『群馬の古建築』『シルクカントリー群馬の建造物史』（みやま文庫）、『颯爽たる群馬』（共著、煥乎堂）、『日本近代建築大全（東日本篇）』（群馬県を担当、講談社）がある。

Panelists



帝京大学経済学部
観光経営学科教授

おがさわら ながたか
小笠原 永隆

千葉大学大学院文学研究科修了。千葉県技術職員（文化財主事）として採用後、観光コンベンション課、地域づくり推進課、千葉県文書館等に配属され、文化財関連事業の他に、まちづくりに関する事業にも携わる。2018年に千葉県を退職後、現職に至る。現在は、一般社団法人日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会事務長、東京都多摩市観光まちづくり交流協議会副会長等多方面で活動している。「博物館の新しい役割（観光・地域活性化）について」（『帝京大学経済学研究』第51巻第2号、帝京大学経済学会、2018年）等多数の論文を発表している。

Panelists



長和町教育委員会
黒耀石体験ミュージアム学芸員

おおたけ さちえ
大竹 幸恵

明治大学大学院文学研究科史学専攻博士前期課程修了。長門町役場職員として教育委員会に勤務。黒耀石体験ミュージアム企画・建設や史跡公園「史跡星葉峠黒耀石原産地遺跡」整備等に携わる。日本考古学協会理事、教科書委員会委員、日本考古学協会副会長を歴任、現在に至る。2000年第25回藤森栄一賞、2017年日本イコモス賞等多数受賞。著書に、『星葉』『HOSHIKUSO』（黒耀石体験ミュージアム）、『黒耀石の原産地を探る鷹山遺跡群』（新泉社）、「第5節先土器時代の茅野」『茅野市史』（上巻茅野市教育委員会）がある。

Advisor



群馬県地域創生部文化財保護課
文化財主監

さくらい みえ
桜井 美枝

大学院で考古学を専攻、1989年に群馬県に入庁。群馬県埋蔵文化財調査事業団に配属、公共開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査・資料整理に従事。2009年に現所属（当時は教育委員会）に異動。以後、群馬県の文化財保護行政に従事。「群馬県文化財保存活用大綱（2020）」、「群馬県文化財防災ガイドライン（2022）」の策定に携わる。現在、伊勢崎市史編纂委員としても活動している。

ACCESS

臨江閣別館 2階大広間
(前橋市大手町三丁目15)

臨江閣拡大図



※駐車場は前橋公園駐車場または県庁北駐車場をご利用ください。

お問い合わせ先

前橋市教育委員会事務局文化財保護課
TEL 027-280-6511